

平成 30 年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト(石綿)による大気汚染の状況を把握するために平成 17 年度より毎年度大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび、平成 30 年度の調査結果を取りまとめました。概要は以下の通りです。

- 1)調査地点:全国 50 地点(解体等工事現場や旧石綿製品製造事業場等を対象)
- 2)測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4.1 版)」(環境省 水・大気環境局大気環境課)
- 3)調査結果
 - ・ 発生源周辺地域(調査実施 22 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.21~0.45 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:2 地点
(内、旧石綿製品製造事業場等1地点において石綿確認)
⇒事業者などの協力を得ながら測定箇所周辺状況の確認をするなどの対応
 - ・ バックグラウンド地域(調査実施 20 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.23~0.35 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:無し
 - ・ 熊本県内調査(調査実施 8 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.21~1.1 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:6 地点
(内、がれき集積場など1地点及び破碎施設等1地点において石綿確認)
⇒熊本市より事業者に対し産業廃棄物受入時にアスベスト含有廃棄物の的確な有無確認、散水による粉じん飛散防止を指導済みであり、令和元年度も調査継続対応
- 継続調査地域(32 地点)における調査結果
総繊維数濃度の幾何平均値:0.21~0.43 本/L

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2019 年 8 月 22 日付 環境省報道発表資料](#)

研究開発箇所 杉田高則